



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 ハウス食品グループ本社株式会社
 コード番号 2810 URL <http://housefoods-group.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浦上 博史
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 田中 千之

TEL 03-5211-6039

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	177,459	9.6	8,505	△16.8	9,746	△15.0	8,110	14.0
25年3月期第3四半期	161,943	△3.2	10,225	△22.9	11,473	△18.0	7,116	△11.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,749百万円 (35.5%) 25年3月期第3四半期 7,195百万円 (△14.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	76.68	—
25年3月期第3四半期	66.98	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	269,744	206,420	76.0	1,938.81
25年3月期	250,780	199,328	79.2	1,879.06

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 205,048百万円 25年3月期 198,731百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
26年3月期	—	15.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭(創業100周年記念配当)

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	232,000	10.6	9,500	△17.0	10,800	△19.7	8,600	4.2	81.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	105,761,763 株	25年3月期	105,761,763 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,379 株	25年3月期	972 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	105,759,997 株	25年3月期3Q	106,245,266 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・その他、業績予想に関する事項は、四半期決算短信【添付資料】P4「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	12
(1) 業績の状況	12
(2) グループ会社数	12
(3) 連結損益計算書の状況	13
(4) 連結貸借対照表の状況	15
(5) 設備投資の状況	16
(6) 減価償却費の状況	16
(7) 主要経営指標等	16

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における経営環境は、政府の経済政策や日本銀行の金融緩和により過度な円高が是正され、輸出関連企業を中心に業績が回復するとともに、個人消費にも持ち直しの兆しが見られるなど、景気回復に向けた動きが徐々に顕在化してまいりました。一方、食品業界におきましては、円安による原材料価格の上昇に加え、食シーンやお客様ニーズが多様化するなか、消費動向は依然厳しいものがあり、引き続き予断を許さない状況が続いております。

このような環境下におきまして、当社グループは、10月1日より持株会社体制に移行し、新たに策定したグループ理念“食を通じて人とつながり、笑顔ある暮らしを共につくるグッドパートナーをめざします”の下、前連結会計年度からスタートした第四次中期計画で掲げる「国内コア事業の収益力強化および海外コア育成事業の展開加速」「開発力・コスト競争力の強化推進」に向けた取組を進めてまいりました。

売上面につきましては、国内コア事業における一部主力製品が成熟市場内での競争激化や競合他社参入の影響により減収となりましたが、コア育成事業の海外事業が展開各国で概ね順調に事業拡大していることに加え、その他食品関連事業（「運送事業他」からセグメント名称変更）において昨年5月に食材の輸入・販売等を営む(株)ヴォークス・トレーディングを連結子会社化したことなどにより、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,774億59百万円、前年同期比9.6%の増収となりました。

一方利益面では、引き続きコストダウンに取り組みましたほか、ハウスウェルネスフーズ(株)のれん償却が終了しましたものの、国内コア事業が減収となり、また海外事業では東南アジアにおける事業基盤構築に向けたマーケティングコストの先行投下などにより、営業利益は85億5百万円、前年同期比16.8%の減益となりました。経常利益は97億46百万円、前年同期比15.0%の減益、四半期純利益は、特別利益が大幅に増加しましたことから81億10百万円、前年同期比14.0%の増益となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

持株会社体制移行に伴い、当第3四半期連結会計期間より事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントのうち「運送事業他」について、名称を「その他食品関連事業」に変更いたしました。

事業の種類別 セグメント	連結売上高		連結営業利益(セグメント利益)	
	金額(百万円)	前年同期比(%)	金額(百万円)	前年同期比(%)
香辛・調味加工食品事業	95,364	99.4	5,417	79.1
健康食品事業	32,254	93.1	2,107	107.1
海外事業	13,650	138.3	344	48.8
その他食品関連事業	36,191	168.5	635	90.6
報告セグメント計	177,459	109.6	8,504	83.2

※ 連結営業利益(セグメント利益)は、セグメント間取引による影響額1百万円を調整する前の金額であります。

<香辛・調味加工食品事業>

ルウカレー製品、ルウシチュー製品は、価格帯別のフルライン戦略の推進や新製品投入などにより、カテゴリー内シェアを拡大いたしました。メニュー間競合の影響を補うには至らず、前年を下回る売上となりました。

一方、レトルト製品は、本格的な味わいを追求した「ザ・ホテル」シリーズが着実にマーケットに浸透し、売上を牽引いたしましたほか、スパイス製品も取扱拡大に向けた営業活動が一定の成果をあげており、売上は堅調に推移しております。

その他新製品では、メニュー専用調味料「三ツ星食感」シリーズが、時短・簡便ニーズを捉えた製品としてご好評を得、順調なスタートとなりました。

以上の結果、香辛・調味加工食品事業の売上高は953億64百万円、前年同期比0.6%の減収、営業利益は54億17百万円、前年同期比20.9%の減益となりました。

<健康食品事業>

持株会社体制移行に伴い、従来2社で展開してきた健康食品事業をハウスウェルネスフーズ(株)に統合し、事業展開力を一層強化する体制を整備いたしました。

「ウコンの力」シリーズは、10月にフレッシュアップを行い、品質・味覚面での顧客満足度を更に高めると共に、ヘビーユーザーとのコミュニケーション強化に注力したものの、競争環境は依然厳しく、軟調な売上となりました。一方、育成ブランド「メガシャキ」は、需要期毎のプロモーションを積極的に展開した結果、ブランド全体での相乗効果が高まり、売上は伸長いたしました。

「C1000」シリーズは、日々のビタミン摂取の有効性を訴求することで、「ビタミンレモン」が順調な推移となりましたが、「レモンウォーター」がPET飲料の競争激化の影響から苦戦し、トータルでは減収となりました。

以上の結果、健康食品事業の売上高は322億54百万円、前年同期比6.9%の減収、営業利益は21億7百万円、前年同期比7.1%の増益となりました。

<海外事業>

米国豆腐事業は、引き続き販売拡大が進んだことに加え、継続したコストダウン活動の成果などから第3四半期では増益となり、上期からの赤字幅は縮小いたしました。

中国カレー事業は、新規エリア・企業での取扱促進、およびコストダウンに注力した結果、事業拡大と共に収益基盤の強化を実現いたしました。また、中国事業を統括するエリアセンターとして、11月にハウス食品(中国)投資社を設立し、中国事業展開の一層のスピードアップを図ってまいります。

東南アジアでは、タイで展開する機能性飲料事業がバラエティ製品を発売するなど、同国におけるビタミン機能飲料の基盤構築を進めたほか、今期より事業を開始したベトナムにおいては、営業体制を強化し、取扱拡大に注力しております。

カレーレストラン事業は、今後一層の拡大が見込める中国において上海に加え、華北(北京)・華南(広州)にも会社を設立し、エリア毎の店舗展開を加速する体制を整備してまいります。

以上の結果、海外事業の売上高は136億50百万円、前年同期比38.3%の増収、営業利益は3億44百万円、前年同期比51.2%の減益となりました。

<その他食品関連事業>

運送・倉庫事業を営むハウス物流サービス(株)は、グループ外企業の物流業務の受託拡大による売上伸長に加え、コストダウンが奏功し増益となりました。コンビニエンスストア向けの総菜等製造事業を営む(株)デリカシェフは、デザート類の売上が好調だったものの、焼成パン類が低調に推移し、増収減益となりました。また、新たに連結子会社としました(株)ヴォークス・トレーディングが売上の増加に寄与いたしました。

以上の結果、その他食品関連事業の売上高は361億91百万円、前年同期比68.5%の増収、営業利益は(株)ヴォークス・トレーディング連結子会社化に伴うのれん償却などの影響により、6億35百万円、前年同期比9.4%の減益となりました。

(2)財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は以下のとおりであります。

総資産は2,697億44百万円となり、前連結会計年度末に比べて189億64百万円の増加となりました。

流動資産は、譲渡性預金の減少により有価証券が減少した一方、受取手形及び売掛金、現金及び預金や商品及び製品が増加したことなどから、112億23百万円増加の1,183億58百万円となりました。固定資産は、長期預金が満期により減少した一方、建設仮勘定、土地、建物及び構築物や投資有価証券が増加したことなどから、77億41百万円増加の1,513億86百万円となりました。

負債は633億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて118億72百万円の増加となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金や短期借入金が増加したことなどから、108億16百万円増加の503億30百万円となりました。固定負債は、繰延税金負債が増加したことなどから、10億57百万円増加の129億94百万円となりました。

純資産は、四半期純利益により利益剰余金が増加したことや為替変動の影響により為替換算調整勘定が増加したことなどから、前連結会計年度末に比べて70億92百万円増加の2,064億20百万円となりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は76.0%（前連結会計年度末は79.2%）、1株当たり純資産は1,938円81銭（前連結会計年度末は1,879円06銭）となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間において関連会社であった(株)ヴォークス・トレーディングの株式を追加取得し連結子会社とした事により、総資産が109億62百万円増加し、負債が92億34百万円増加しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績につきましては、平成25年10月30日発表の業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,371	23,954
受取手形及び売掛金	37,866	50,508
有価証券	35,445	25,133
商品及び製品	6,223	8,447
仕掛品	1,012	1,296
原材料及び貯蔵品	2,817	3,050
繰延税金資産	2,277	2,455
その他	2,130	3,520
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	107,135	118,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,038	19,271
機械装置及び運搬具(純額)	7,769	7,721
土地	24,152	25,951
リース資産(純額)	4,338	4,213
建設仮勘定	883	2,779
その他(純額)	932	1,127
有形固定資産合計	56,112	61,062
無形固定資産		
のれん	268	657
ソフトウェア	889	907
ソフトウェア仮勘定	161	576
その他	467	827
無形固定資産合計	1,787	2,967
投資その他の資産		
投資有価証券	75,689	78,988
長期貸付金	239	283
繰延税金資産	213	884
長期預金	6,000	4,000
前払年金費用	1,193	803
破産更生債権等	—	448
その他	2,682	2,654
貸倒引当金	△270	△703
投資その他の資産合計	85,746	87,357
固定資産合計	143,645	151,386
資産合計	250,780	269,744

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,613	23,349
電子記録債務	1,162	1,344
短期借入金	570	4,683
リース債務	400	540
未払金	12,453	12,167
未払法人税等	1,872	2,276
役員賞与引当金	67	63
その他	4,378	5,908
流動負債合計	39,515	50,330
固定負債		
長期借入金	—	238
リース債務	3,938	3,909
長期未払金	834	874
繰延税金負債	5,194	5,672
退職給付引当金	1,203	1,259
資産除去債務	278	281
その他	490	762
固定負債合計	11,938	12,994
負債合計	51,452	63,325
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,948	9,948
資本剰余金	23,868	23,868
利益剰余金	155,148	160,085
自己株式	△1	△4
株主資本合計	188,963	193,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,840	11,047
繰延ヘッジ損益	—	2
為替換算調整勘定	△1,072	101
その他の包括利益累計額合計	9,768	11,150
少数株主持分	596	1,372
純資産合計	199,328	206,420
負債純資産合計	250,780	269,744

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	161,943	177,459
売上原価	87,698	102,212
売上総利益	74,245	75,247
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	8,379	8,856
運送費及び保管費	4,567	5,114
販売手数料	3,230	2,700
販売促進費	22,910	23,988
給料手当及び賞与	9,680	10,370
役員賞与引当金繰入額	52	70
減価償却費	770	619
のれん償却額	684	128
賃借料	1,101	1,229
試験研究費	2,846	2,634
その他	9,801	11,034
販売費及び一般管理費合計	64,020	66,742
営業利益	10,225	8,505
営業外収益		
受取利息	361	407
受取配当金	294	319
持分法による投資利益	339	363
為替差益	135	376
その他	194	249
営業外収益合計	1,322	1,714
営業外費用		
支払利息	31	172
その他	44	300
営業外費用合計	74	472
経常利益	11,473	9,746

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	2	3,110
投資有価証券売却益	10	81
貸倒引当金戻入額	0	19
その他	3	1
特別利益合計	15	3,211
特別損失		
固定資産売却損	9	122
固定資産除却損	133	147
投資有価証券評価損	72	—
会員権評価損	29	24
減損損失	—	85
債務保証損失引当金繰入額	—	152
段階取得に係る差損	—	69
その他	17	7
特別損失合計	260	606
税金等調整前四半期純利益	11,229	12,351
法人税等	4,097	4,095
少数株主損益調整前四半期純利益	7,132	8,256
少数株主利益	16	146
四半期純利益	7,116	8,110
少数株主利益	16	146
少数株主損益調整前四半期純利益	7,132	8,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	82	220
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	△22	1,197
持分法適用会社に対する持分相当額	4	70
その他の包括利益合計	64	1,492
四半期包括利益	7,195	9,749
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,163	9,492
少数株主に係る四半期包括利益	33	257

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	香辛・調味 加工食品 事業	健康食品 事業	海外事業	その他食品 関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,929	34,658	9,872	21,484	161,943	—	161,943
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	8,493	8,493	—	8,493
計	95,929	34,658	9,872	29,977	170,436	—	170,436
セグメント利益	6,847	1,967	705	701	10,221	—	10,221

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	10,221
セグメント間取引消去	4
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	10,225

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、(株)堀江大和屋の株式を取得し、同社を連結子会社としたことにより、「その他食品関連事業」のセグメントにおいて、のれんが140百万円増加しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他	合計
	香辛・調味加工食品事業	健康食品事業	海外事業	その他食品関連事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	95,364	32,254	13,650	36,191	177,459	—	177,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	87	45	61	9,014	9,206	—	9,206
計	95,451	32,299	13,710	45,205	186,666	—	186,666
セグメント利益	5,417	2,107	344	635	8,504	—	8,504

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(子会社の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結累計期間において、(株)ヴォークス・トレーディングの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、前連結会計年度の末日に比べ、「その他食品関連事業」のセグメント資産が11,384百万円増加しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	8,504
セグメント間取引消去	1
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	8,505

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において、生駒研修所を閉鎖したことに伴う減損損失を、「香辛・調味加工食品事業」のセグメントにおいて65百万円、「健康食品事業」のセグメントにおいて21百万円、「その他食品関連事業」のセグメントにおいて0百万円計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

当第3四半期連結累計期間において、(株)ヴォークス・トレーディングの普通株式を追加取得し、連結範囲に含めた事により、「その他食品関連事業」のセグメントにおいて、のれんが516百万円増加しております。

5. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

当第3四半期連結会計期間より、各報告セグメントに配分する売上高及び費用の範囲を見直し、従来「その他食品関連事業」に含めておりましたハウスビジネスパートナーズ(株)の費用について、一定の配賦基準に基づき各報告セグメントに配賦する方法を採るなどの変更をしております。この変更は、持株会社体制への移行により組織体制を整備したことに伴うものであります。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント情報に与える影響額は軽微であります。

(報告セグメントの名称の変更)

当第3四半期連結会計期間より、持株会社体制への移行により組織体制を整備したことに伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、報告セグメントのうち「運送事業他」について、名称を「その他食品関連事業」に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称にて記載しております。

4. 補足情報

(1) 業績の状況

《連結》

(単位：百万円)

	13.3期第3四半期 累計期間		14.3期第3四半期 累計期間		13.3期 通期		14.3期 通期 修正目標	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	161,943	96.8%	177,459	109.6%	209,784	97.9%	232,000	110.6%
営業利益	10,225	77.1%	8,505	83.2%	11,441	81.4%	9,500	83.0%
経常利益	11,473	82.0%	9,746	85.0%	13,445	86.7%	10,800	80.3%
四半期(当期)純利益	7,116	88.2%	8,110	114.0%	8,254	104.1%	8,600	104.2%
包括利益	7,195	85.5%	9,749	135.5%	14,515	139.5%	—	—

《事業セグメント別》

売上高	金額		金額		金額		金額	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	95,929	59.2%	95,364	53.7%	123,875	59.0%	124,900	53.8%
健康食品事業	34,658	21.4%	32,254	18.2%	42,766	20.4%	40,400	17.4%
海外事業	9,872	6.1%	13,650	7.7%	14,700	7.0%	19,200	8.3%
その他食品関連事業	21,484	13.3%	36,191	20.4%	28,443	13.6%	47,500	20.5%
営業利益	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
香辛・調味加工食品事業	6,847	67.0%	5,417	63.7%	8,157	71.3%	6,450	67.9%
健康食品事業	1,967	19.2%	2,107	24.8%	1,903	16.6%	1,900	20.0%
海外事業	705	6.9%	344	4.0%	677	5.9%	400	4.2%
その他食品関連事業	701	6.9%	635	7.5%	701	6.1%	750	7.9%
その他連結調整等	4	0.0%	1	0.0%	4	0.0%	—	—

《14.3期第3四半期累計期間主要子会社・単体へス》

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	四半期純利益
ハウス食品(株)	35,675	2,837	1,602

※ハウス食品(株)の数値は、2013年10月～12月3ヶ月の実績です。

ハウスウェルネスフーズ(株)	26,640	1,301	1,311
ハウス物流サービス(株)	17,909	382	211
(株)デリカシェフ	10,780	116	121
サンハウス食品(株)	5,845	197	138
ハウスフーズアメリカCorp.	6,448	△5	△5

(2) グループ会社数

	13.3期第3四半期 累計期間	14.3期第3四半期 累計期間	13.3期 通期
連結子会社数	21社	28社	22社
持分法適用関連会社数	6社	5社	6社

(3) 連結損益計算書の状況

① 連結損益計算書

(単位：百万円)

	13. 3期第3四半期 累計期間	14. 3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
売上高	161,943	177,459	15,516
《事業セグメント別》			
香辛・調味加工食品事業	95,929	95,364	△ 564
健康食品事業	34,658	32,254	△ 2,404
海外事業	9,872	13,650	3,777
その他食品関連事業	21,484	36,191	14,707
売上原価	87,698	102,212	14,514
(売上原価率)	(54.15%)	(57.60%)	(3.44%)
販売費・一般管理費	64,020	66,742	2,722
広告宣伝費	8,379	8,856	477
運送費及び保管費	4,567	5,114	547
販売手数料	3,230	2,700	△ 529
販売促進費	22,910	23,988	1,078
人件費	13,387	14,203	816
試験研究費	2,846	2,634	△ 213
のれん償却額	684	128	△ 556
営業利益	10,225	8,505	△ 1,721
営業外収益	1,322	1,714	391
営業外費用	74	472	397
経常利益	11,473	9,746	△ 1,727
特別利益	15	3,211	3,196
特別損失	260	606	346
税金等調整前四半期純利益	11,229	12,351	1,123
法人税等	4,097	4,095	△ 2
少数株主損益調整前四半期純利益	7,132	8,256	1,125
少数株主利益(△は損失)	16	146	131
四半期純利益	7,116	8,110	994
四半期包括利益	7,195	9,749	2,554

② 営業利益の主な増減要因（前年同期比較）

（単位：百万円）

マーケティングコスト（広告宣伝費・販売手数料・販売促進費の合計）の増加	△ 1,025
給与手当及び賞与の増加	△ 691
運送費及び保管費の増加	△ 547
賃借料の増加	△ 128
その他販売費及び一般管理費の増加（連結子会社の増加等）	△ 1,039
売上総利益の増加	1,002
のれん償却額の減少	556
減価償却費の減少	151

③ 営業外損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	13. 3期第3四半期 累計期間	14. 3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
受取利息・有価証券利息	361	407	46
受取配当金	294	319	25
持分法による投資利益	339	363	24
為替差益	135	376	241
その他	194	249	55
営業外収益計	1,322	1,714	391
支払利息	31	172	141
為替差損	—	—	—
その他	44	300	256
営業外費用計	74	472	397

④ 特別損益の主な増減内容

（単位：百万円）

	13. 3期第3四半期 累計期間	14. 3期第3四半期 累計期間	対前年同期増減
固定資産売却益	2	3,110	3,108
投資有価証券売却益	10	81	70
貸倒引当金戻入額	0	19	19
その他	3	1	△ 2
特別利益計	15	3,211	3,196
固定資産売却損	9	122	113
固定資産除却損	133	147	15
投資有価証券評価損	72	—	△ 72
会員権評価損	29	24	△ 5
減損損失	—	85	85
その他	17	227	210
特別損失計	260	606	346

(4) 連結貸借対照表の状況

《連結貸借対照表の主な増減内容》

(単位：百万円)

	13.3期末		14.3期第3四半期末		対前期末増減	主な増減内容
	金額	構成比	金額	構成比	金額	
流動資産	107,135	42.7%	118,358	43.9%	11,223	受取手形及び売掛金 12,641 現金及び預金 4,583 商品及び製品 2,224 有価証券 ▲10,311
固定資産	143,645	57.3%	151,386	56.1%	7,741	投資有価証券 3,299 建設仮勘定 1,896 土地 1,798 建物及び構築物 1,233 のれん 389 長期預金 ▲2,000
資産合計	250,780	100.0%	269,744	100.0%	18,964	
流動負債	39,515	15.8%	50,330	18.7%	10,816	支払手形及び買掛金 4,736 短期借入金 4,113
固定負債	11,938	4.8%	12,994	4.8%	1,057	繰延税金負債 478 長期借入金 238
負債合計	51,452	20.5%	63,325	23.5%	11,872	
その他の包括利益 累計額合計	9,768	3.9%	11,150	4.1%	1,381	為替換算調整勘定 1,173 その他有価証券評価差額金 207
少数株主持分	596	0.2%	1,372	0.5%	776	
純資産合計	199,328	79.5%	206,420	76.5%	7,092	
負債純資産合計	250,780	100.0%	269,744	100.0%	18,964	

(5) 設備投資の状況

《連結》

(単位：百万円)

	13. 3期第3四半期 累計期間	14. 3期第3四半期 累計期間	13. 3期 通期	14. 3期 通期修正目標
設備投資	2,848	8,278	5,684	9,500
リース	362	334	433	500
合計	3,210	8,612	6,117	10,000

(6) 減価償却費の状況

《連結》

(単位：百万円)

	13. 3期第3四半期 累計期間	14. 3期第3四半期 累計期間	13. 3期 通期	14. 3期 通期修正目標
減価償却費	3,626	3,651	5,020	5,000
支払リース料	286	251	382	300
合計	3,912	3,902	5,402	5,300

※売買取引に係る方法に準じて資産計上を行っているリース物件の支払リース料相当は「減価償却費」に含めております。

(7) 主要経営指標等

《連結》

	14. 3期第3四半期 累計期間	13. 3期 通期
一株当たり四半期(当期)純利益	76.68 円	77.78 円
一株当たり純資産	1,938.81 円	1,879.06 円
自己資本当期純利益率	—	4.3 %
総資産経常利益率	—	5.5 %
売上高経常利益率	5.5 %	6.4 %
総資本回転率	—	0.85 回
流動比率	235.2 %	271.1 %
固定比率	73.8 %	72.3 %
負債比率	30.9 %	25.9 %
自己資本比率	76.0 %	79.2 %
従業員数	5,285 人	4,968 人

◎休職者・嘱託・パートを含みません。